

四月十日、四年ぶりに新入生・在校生・保護者・来賓・職員が一堂に集つ入学式を実施しました。



# 誓いの言葉 校訓を胸に刻み 若葉のように

新入生・在校生・保護者  
来賓・職員の一 同が集う  
四年ぶりの入学式を実施

である・である・である

として見ていくような状況でした。壇上に登った新入生代表、在校生代表、もちろん、校長である私も、マスクを付けずに、喜びの表情を前面に出しながら言葉を述べました。

違っていたのは、一同に集つても、ほとんどの方がマスク姿であつたこと、換気のために空けられた窓から心地よい春風が吹いていたこと。そうはいつても五者が揃つ式は、昨年度までに全校生徒に対してメッセージを送つた「やまない雨はない」雨の大切さも知っている」を現実のもの

育食後部を壊し、月くじで  
る状況に圧倒され、一瞬、  
コロナ禍前の学校に戻った  
ふうな気分

校生・保護者  
一同が集う  
式を実施

次に続いたのは、在校生を代表して三年生の山口透和さんが歓迎の言葉を述べました。舞台の全面に立ち、マスクを外して堂々と述べる巻頭言。これこそ梅中健児にふさわしいパフォーマンス。やつと思い切りよく、巻頭言を披露できる日がやってきました。新入生も圧倒された様子でした。

どの学校行事も楽しみたい、といった中学校への期待を述べました。また、勉強と部活動の両立に対する不安についても述べました。言葉の締めくくりは、若葉のように成長し、自分を豊かにしていきたいと強く述べ、新入生とは思えない頼もししさをみんなに感じさせました。

達成感に満ち溢れた三週間前の中学校の卒業式の思いを冒頭に述べ、校訓を胸に刻み、仲間と高め合つていきたい、みんなでルールを守り、助け合いたい、勉強にも力を入れ、授業中には進んで発表したい、自主学習を積極的に行いたい、体

新入生の不安を払しょくさせる先輩としてのあたたかな言葉。思いつきりの姿を新入生に披露し、共に学校をつくっていこうと力強く述べる姿は、きっと新入生の憧れにつながったことでしょう。私も先輩に続けて心で唱えました。



## 歓迎のことば 思い切りのいい 巻頭言

発行者  
長崎市立梅香崎中学校  
校長 高坂 英晃  
HP: [www.nagasaki-  
city.ed.jp/~umegasaki-j](http://www.nagasaki-city.ed.jp/~umegasaki-j)  
TEL095-824-4997  
FAX095-822-4412

式辞  
かつこわるいが

額に汗かくの  
かつこわるい  
涙を流すの  
かつこわるい  
一生懸命になるの  
かつこわるい  
人前で歌うの  
大声であいさつするの  
はじめて生きるの  
かつこわるい  
しかし この  
かつこわかるさが  
人の心を動かす  
かつこわかるさが  
感動を生む  
それが実はかつこいい  
わたしは生き抜く  
そう信じて

右の山根生作表の山口さんの姿を見ながら、私が述べた式辞にある中学生の姿、その模範となる姿だと感心しました。

吹奏楽部の生演奏、入学式での歓迎演奏も復活しました。生演奏に勝るものは、ありません。録画では、難しい臨場感、聴者との一体感が四年ぶりに復活です。体育館が新入生の歓迎ムード一色となりました。

できることが増えてきそうな令和五年度。この三年間の工夫と創造を生かし、ウィズ・コロナ、アフター・コロナの状況の中、教育を展開していきます。



## 吹奏樂部の歓迎演奏も 四年ぶりに復活

感動を求める、眞のかつこよさを求めて、中学校生活を満喫してほしいと願います。